



# 青森農研フラッシュ

研究成果

(地独)青森県産業技術センター・農林部門

## 2つの耕種的方法を組み合わせたトマト青枯病対策 — 農薬を使わずに被害を軽減 —

農林総合研究所

トマト青枯病は、農薬を使って土壤消毒を行っても防除が難しい病害で、現時点では、この病害に全くかからないという品種や台木はありません。

この病害の対策として、①転炉スラグ(石灰質資材の一種)の施用による土壤pH改良と②耐病性台木への接ぎ木を組み合わせ、農薬を使わずに効果的に被害を軽減できることが明らかになったので紹介します。

### 本対策のポイント

1 転炉スラグを用いて土壤pHを7.5程度に上げる  
→青枯病が発生しにくい土壤に改善



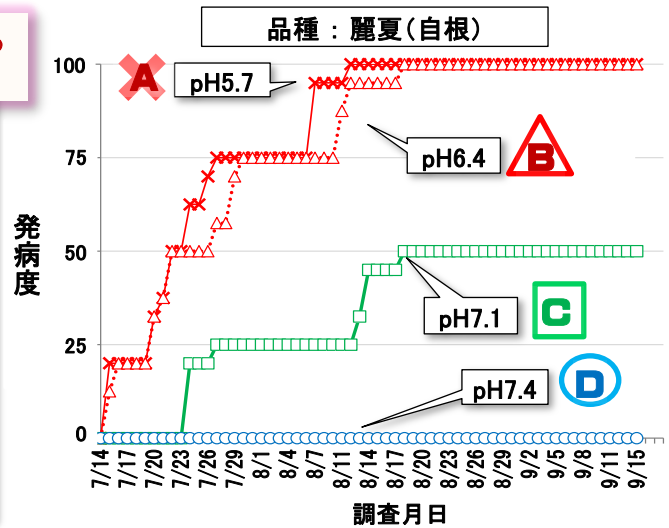
無施用

転炉スラグ施用

酸性

土壤pH

アルカリ性



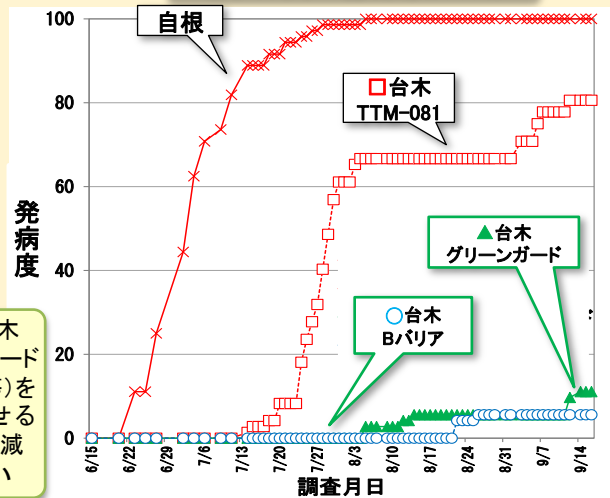
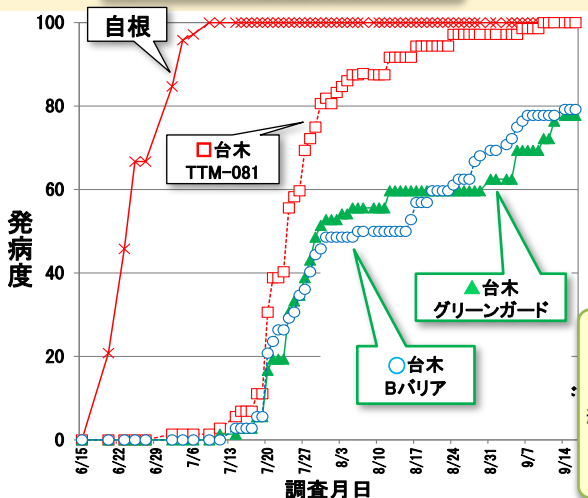
土壤pHが高くなると、発病しにくい

2 さらに、耐病性台木への接ぎ木を組み合わせる → 高い被害軽減効果を発揮

転炉スラグ 無施用 (pH: 5.8)

品種：桃太郎8

転炉スラグ 施用 (pH: 7.4)



耐病性台木 (グリーンガード Bバリア 等) を組み合わせる → 被害軽減効果高い

お問い合わせ

農林総合研究所・病虫部

(Tel)0172-52-4314